

2014年3月期決算説明会

項目	スピーカー	
(事務局から)		司会者
1. はじめに	取締役専務執行役員	嘉戸 廣之
2. 14. 3期決算概要と15. 3期業績予想について	経理部長	池尻 修
3. 次期中期経営計画(16中計)について	経営企画部長	杉山 徹
(質疑応答)		



はじめに

取締役専務執行役員 嘉戸廣之



14. 3期実績

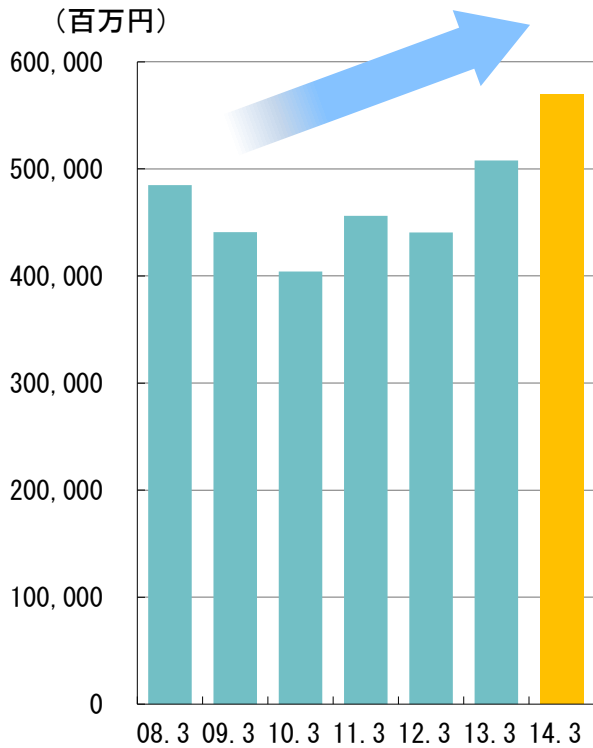
売上高	5,697億円		(過去最高)
営業利益	374億円	(利益率 6.6%)	(過去最高)
経常利益	414億円	(利益率 7.3%)	(過去最高)
当期純利益	246億円	(利益率 4.3%)	(過去最高)

14. 3期実績につきまして

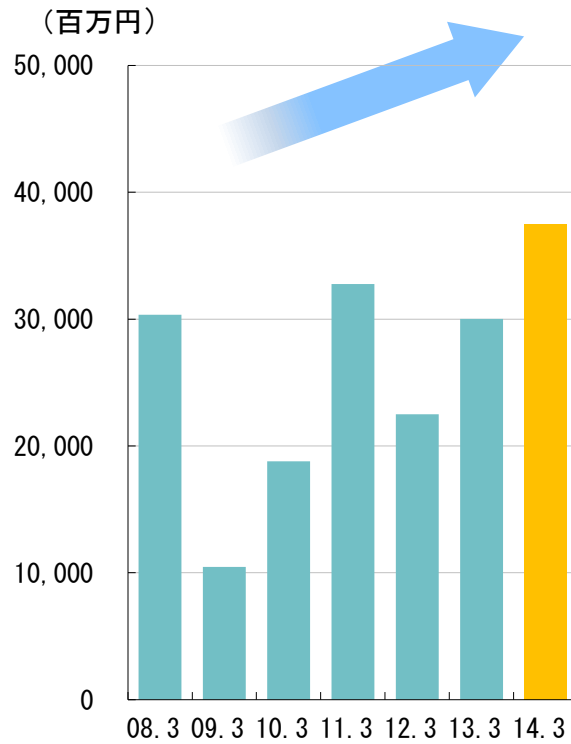
(単位：百万円)

	13・3期	14・3期			
	実績	実績	前期比	当初計画	修正後計画
売上高	507,985	569,711	12.2%	570,000	570,000
営業利益	30,020	37,480	24.8%	38,000	40,000
経常利益	34,907	41,436	18.7%	40,000	42,000
当期純利益	20,333	24,677	21.4%	27,000	28,000
EPS	83.70	101.60	—	—	—
(単位：円)					

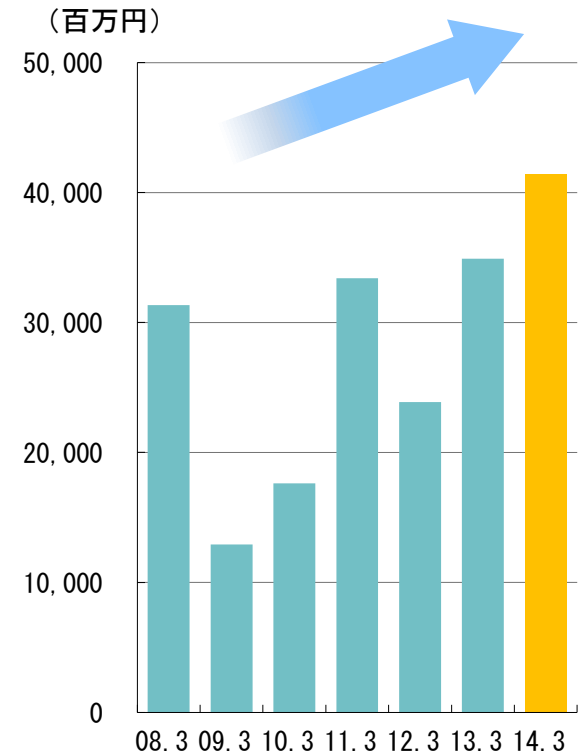
売上高



営業利益



経常利益



15. 3期業績予想

売上高 5,800億円 (前期比1.8%増)

営業利益 360億円 (前期比3.9%減)
(利益率 6.2%)

経常利益 380億円 (前期比8.3%減)
(利益率 6.6%)

当期純利益 240億円 (前期比2.7%減)
(利益率 4.1%)

さらなる成長のために
革新と挑戦を続ける



全社一丸となって
未来への歩みを進めよう!



「挑戦」は、未来への歩みを進めるための第一歩。

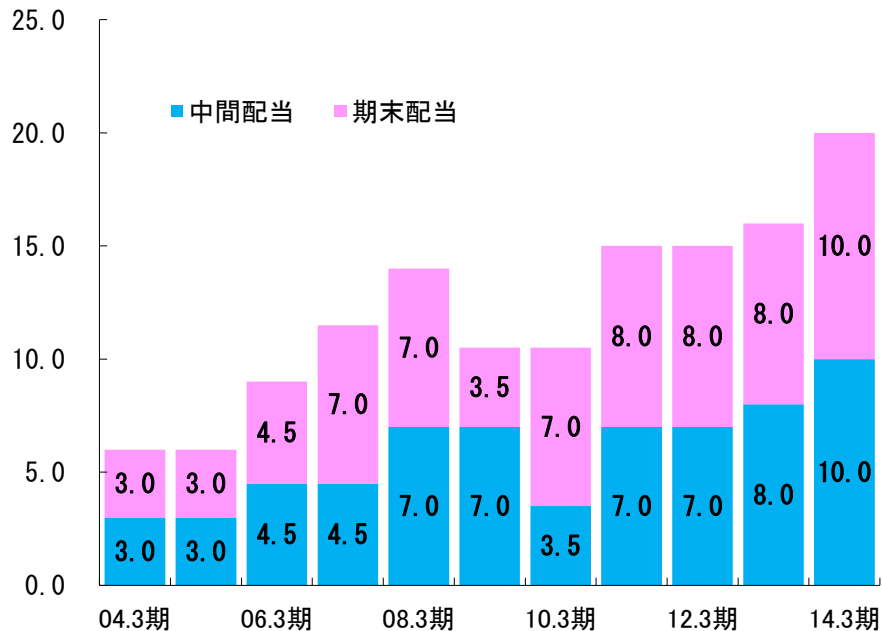
2014年度経営方針

1. 国内事業の競争力の強化
2. 海外事業の経営力の強化
3. 全社一丸となった新製品の創出と事業化のスピードアップ
4. 質の高い積極的なCSR活動への取り組み
5. 安全、安心な職場づくりの更なる推進

当期の配当につきまして

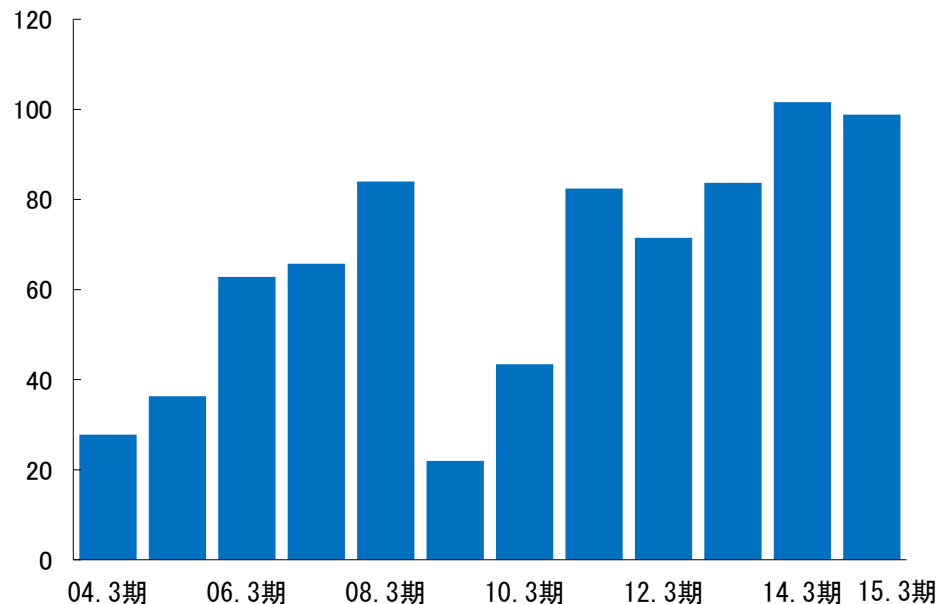
一株当たり配当額

(円)



1株当たり当期純利益

(円)



14.3期第2四半期末配当 : 10円
 14.3期期末配当 : 10円

中期経営計画 17.3期目標値

- ◆ 創立80周年(2020年3月期)に向けた基盤の確立
- ◆ やるべき施策を着実に実行し、評価できる中計とする

- 売上高 6,700億円
- 営業利益 510億円 (利益率 7.6%)
- 経常利益 540億円 (利益率 8.1%)
- 当期純利益 340億円 (利益率 5.1%)

14. 3期決算概要と
15. 3期業績予想について

経理部長 池尻 修

14. 3期実績① ハイライト

- ◆ 消費税導入前の駆け込み需要、海外での自動車生産の増加、為替効果もあり、売上・営業利益・経常利益・当期純利益で過去最高を更新。

(単位：百万円)

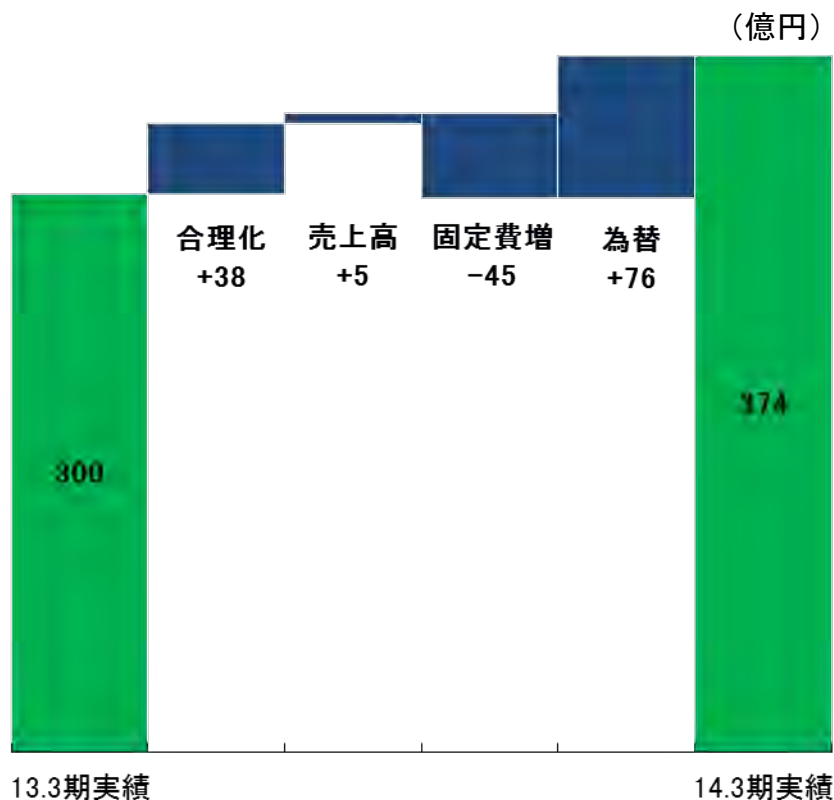
	13・3期	14・3期			
	実績	実績	前期比	当初計画	修正後計画
売上高	507,985	569,711	12.2%	570,000	570,000
営業利益	30,020	37,480	24.8%	38,000	40,000
経常利益	34,907	41,436	18.7%	40,000	42,000
当期利益	20,333	24,677	21.4%	27,000	28,000
EPS (単位：円)	83.70	101.60	—	—	—

14.3期実績②

営業利益の変動要因分析

- ◆ 想定以上の円安効果により、国内での輸出採算が改善し利益を押し上げ。
- ◆ 競争力強化、新規受注に向けた積極的な研究開発、設備投資が先行。

14.3実績



	前期 増減	増減要因	今後の対応
合理化	+38億円	変動費、固定費の合理化	原価低減、固定費削減活動の継続
売上増	+5億円	ニッパツ受注車種構成の変化 新規連結会社	確実な受注の獲得、拡販
固定費増	-45億円	人件費、研究開発費、設備投資の増加	先行開発投資の回収
為替	+76億円	円安メリットの享受	為替変動リスクの極小化

14. 3期実績③

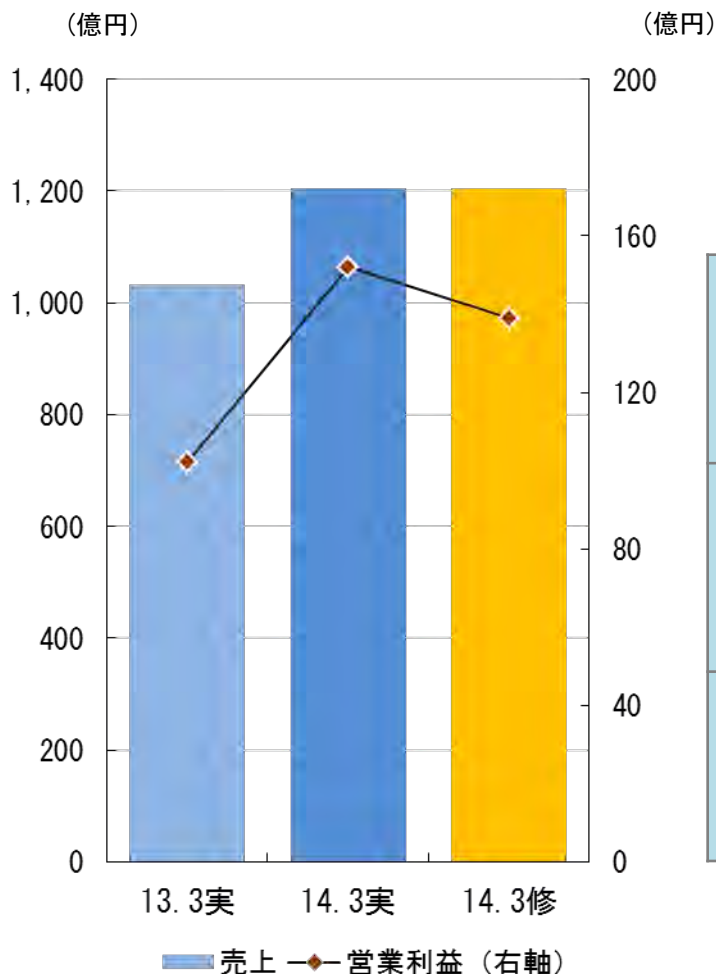
セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連では、懸架ばねの売上がほぼ計画どおりの着地となったものの、シートは国内外での車種構成の変化などから計画未達。
- ◆ 精密部品では、円安効果により収益が回復。

		13. 3実績	14. 3実績	14. 3当初計画	14. 3修正計画	前期比
懸架ばね	売上高	1,032億円	1,204億円	1,100億円	1,205億円	16.7%
	営業利益	102億円	152億円	89億円	139億円	49.2%
	率	9.9%	12.7%	8.1%	11.5%	—
シート	売上高	2,087億円	2,455億円	2,450億円	2,470億円	17.6%
	営業利益	135億円	126億円	154億円	160億円	-6.9%
	率	6.5%	5.1%	6.3%	6.5%	—
精密部品	売上高	1,233億円	1,286億円	1,370億円	1,295億円	4.3%
	営業利益	29億円	55億円	97億円	61億円	91.7%
	率	2.4%	4.4%	7.1%	4.7%	—
産業機器 ほか	売上高	726億円	751億円	780億円	730億円	3.4%
	営業利益	33億円	39億円	40億円	40億円	20.2%
	率	4.6%	5.3%	5.1%	5.5%	—
合 計	売上高	5,079億円	5,697億円	5,700億円	5,700億円	12.2%
	営業利益	300億円	374億円	380億円	400億円	24.8%
	率	5.9%	6.6%	6.7%	7.0%	—

14. 3期実績④

セグメント別分析① 懸架ばね

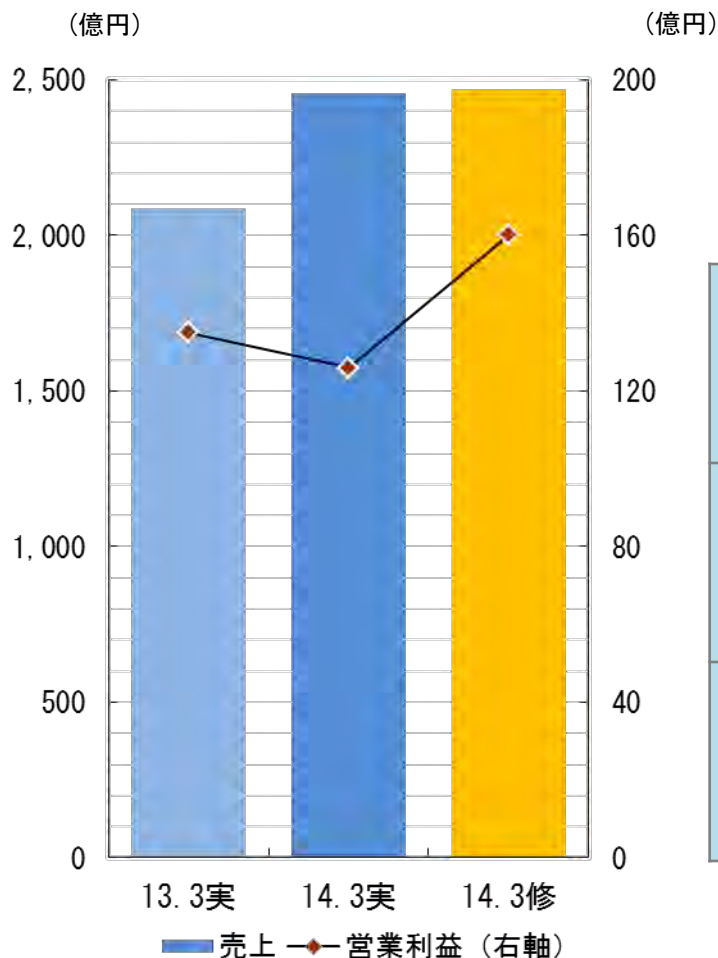


	13.3 実績	14.3 実績	14.3 計画	14.3 修正計画	前期比	修正 計画比
売上高	1,032億円	1,204億円	1,100億円	1,205億円	16.7%	-0.1%
営業利益	102億円	152億円	89億円	139億円	49.2%	10.0%
営業利益率	9.9%	12.7%	8.1%	11.5%	—	—

▽対前期実績：国内外での乗用車・商用車の生産増と為替効果もあり、売上・利益ともに好調に推移。

▽対修正計画：売上は想定通り着地、海外子会社における為替効果から利益を押し上げ。

14.3期実績⑤ セグメント別分析② シート



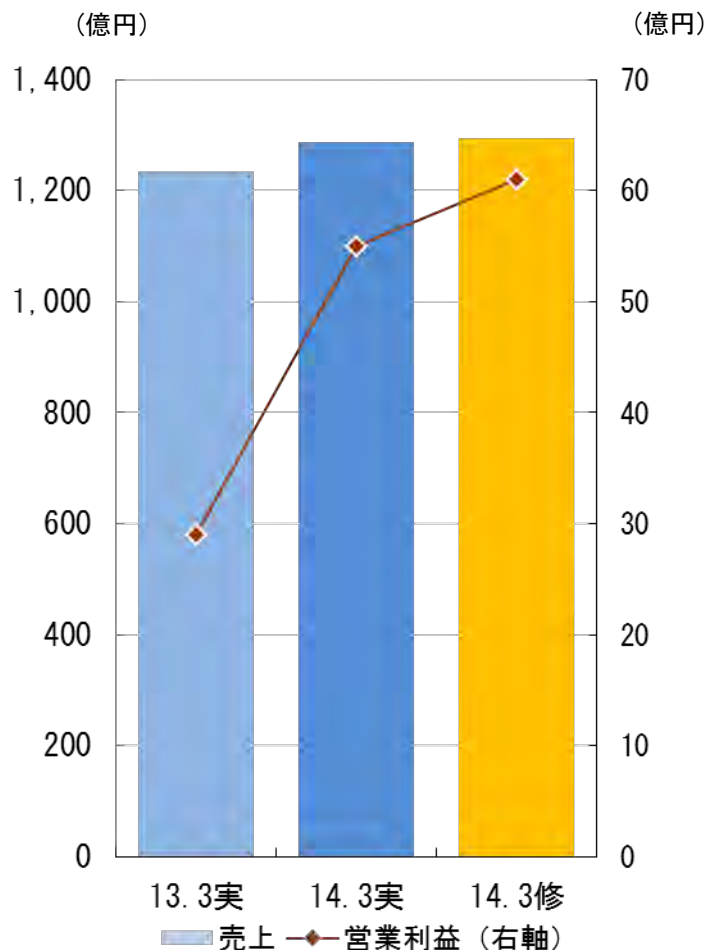
	13.3 実績	14.3 実績	14.3 計画	14.3 修正計画	前期比	修正 計画比
売上高	2,087億円	2,455億円	2,450億円	2,470億円	17.6%	-0.6%
営業利益	135億円	126億円	154億円	160億円	-6.9%	-21.2%
営業利益率	6.5%	5.1%	6.3%	6.5%	—	—

▽対前期実績：湖北日発立上により売上は増加したものの、想定以上に立上費用が増加。下期より国内外でのニッパツ受注車種構成の変化もあり減益。

▽対修正計画：中国新会社の費用増、ニッパツ受注車種構成の変化、期末処理の関係もあり減益。

14.3期実績⑥

セグメント別分析③ 精密部品



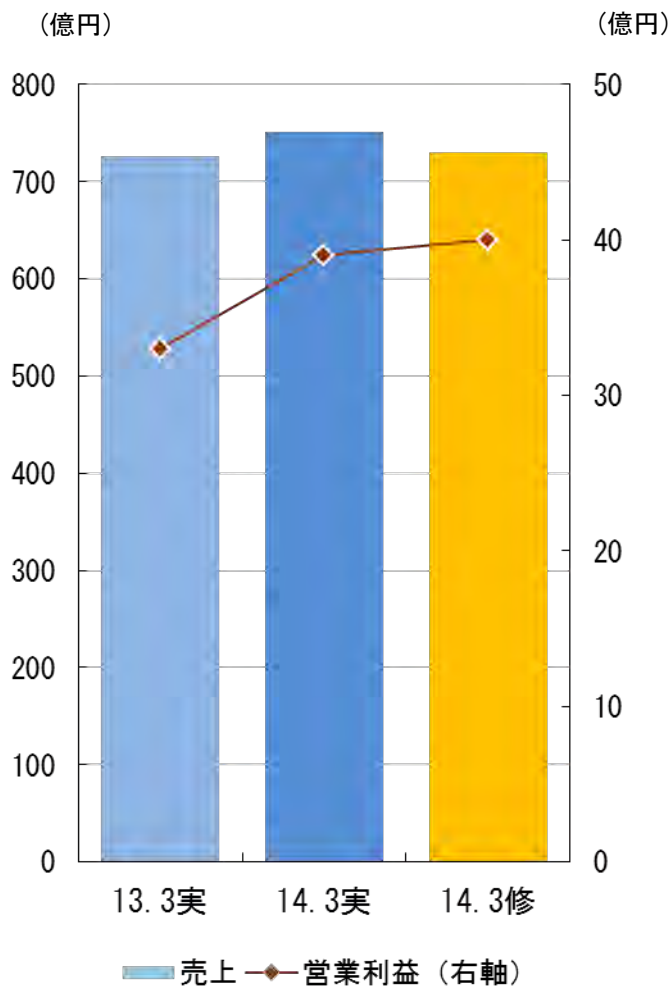
	13.3 実績	14.3 実績	14.3 計画	14.3 修正計画	前期比	修正 計画比
売上高	1,233億円	1,286億円	1,370億円	1,295億円	4.3%	-0.7%
営業利益	29億円	55億円	97億円	61億円	91.7%	-8.2%
営業利益率	2.4%	4.4%	7.1%	4.7%	—	—

▽対前期実績：円安効果により営業利益が大幅に回復。

▽対修正計画：タイ日発でのHDD用サスペンションの受注減から、売上・利益ともに減少。

14. 3期実績⑦

セグメント別分析④ 産業機器ほか



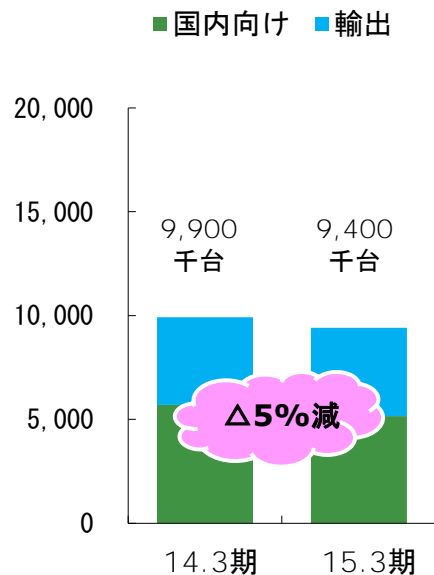
	13.3 実績	14.3 実績	14.3 計画	14.3 修正計画	前期比	修正 計画比
売上高	726億円	751億円	780億円	730億円	3.4%	2.9%
営業利益	33億円	39億円	40億円	40億円	20.2%	-0.4%
営業利益率	4.6%	5.3%	5.1%	5.5%	—	—

対前期実績：車載用電子基板をはじめとして、各製品分野で堅調に推移。
 対修正計画：売上は上振れたものの、営業利益はほぼ計画通りの着地。

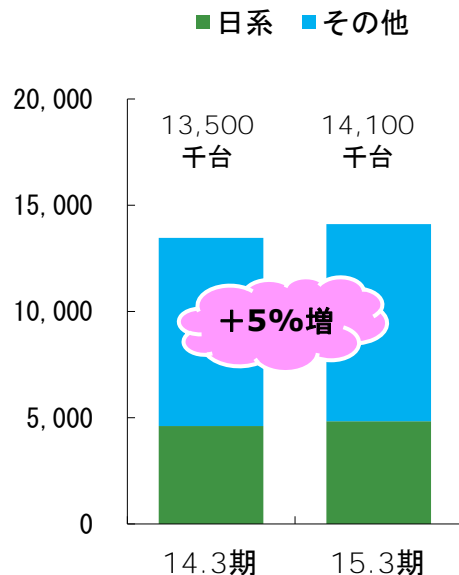
15. 3期業績予想①

業績予想の前提条件(自動車生産台数、HDD台数)

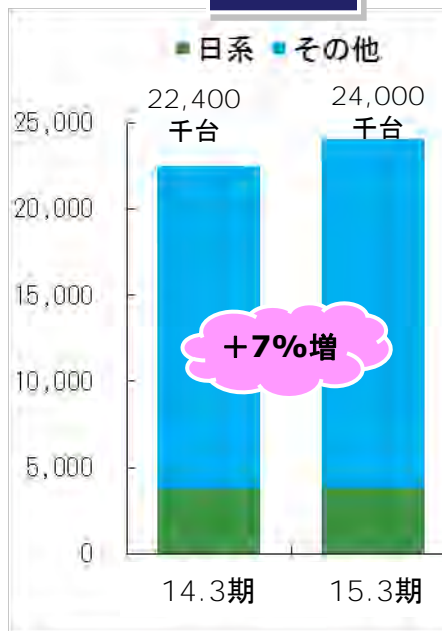
日本



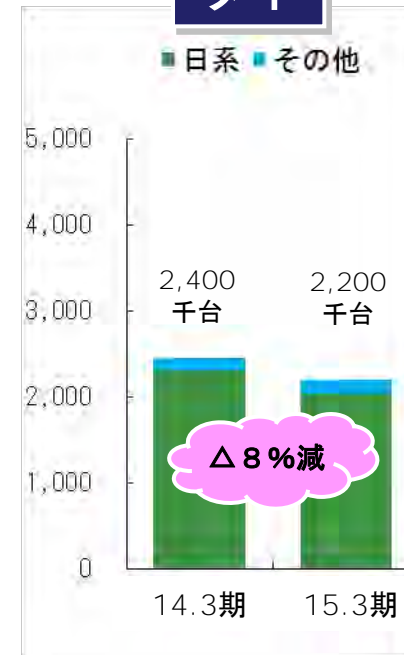
北米



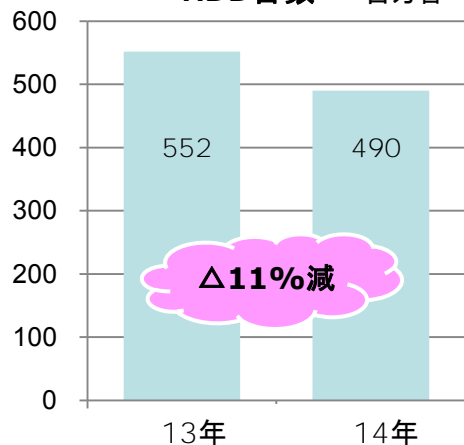
中国



タイ



HDD台数 百万台



- 北米、中国では自動車生産台数が拡大するものの、日本、タイは減速。
- HDD生産台数は、下振れする見通し。

15. 3期業績予想②

2015年3月期 通期計画

(単位：百万円)

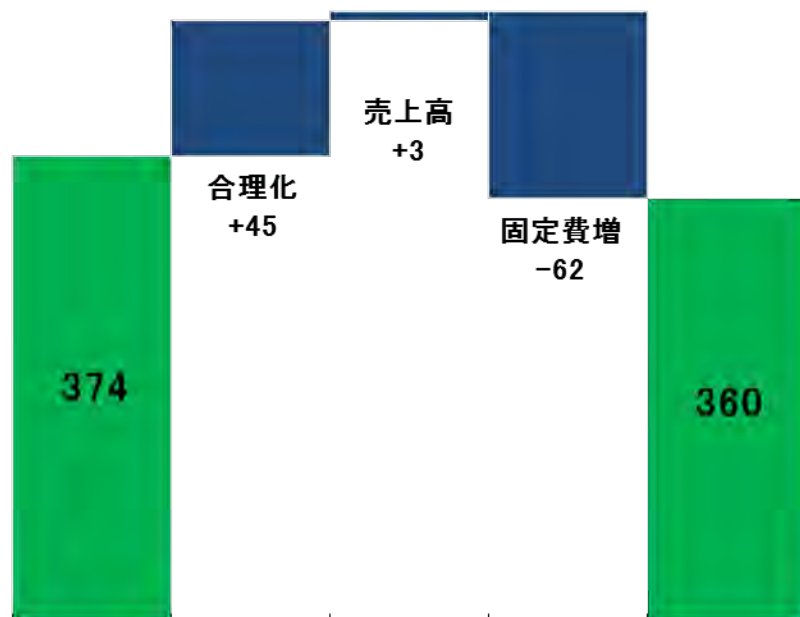
	14. 3期 実績	15. 3期 計画	前期比
売上高	569, 711	580, 000	1. 8%
営業利益	37, 480	36, 000	-3. 9%
経常利益	41, 436	38, 000	-8. 3%
当期利益	24, 677	24, 000	-2. 7%
1株当たり当期純利益 (EPS 単位円)	101. 60	98. 81	—
為替レート US\$	100. 00	100. 00	—
為替レート THB	3. 15	3. 20	—

15.3期業績予想③ 営業利益の変動要因分析

- ◆ 日本、タイにおける自動車生産減の影響を受け、営業利益は減益の見込み。
- ◆ 競争力強化、新規受注に向けた積極的な研究開発、設備投資が先行。

15.3計画

(億円)



	前期 増減	増減要因	今後の対応
合理化	+45億円	変動費、固定費の合理化	原価低減、固定費削減活動の継続
売上増	+3億円	北米・中国の拡大 日本・タイ減速 新規連結会社の影響	確実な受注の獲得、 拡販
固定費増	-62億円	人件費、研究開発費、 設備投資の増加	先行開発投資の回収

15. 3期業績予想④

セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連(懸架ばね、シート、精密部品・産業機器ほかの一部)は、世界生産の拡大により各セグメントで売上高は前期比増の見込み。懸架ばねは、国内・タイにおける自動車の減産の影響もあり、前期比で減少となる見込み。
- ◆ 精密部品のうちHDD関連は、HDD台数の減少に伴い、売上高、営業利益ともに前期比減の見込み。

		14. 3期	15. 3期計画			対前期比
		実績	上期予想	下期予想	通期予想	
懸架ばね	売上高	1,204億円	582億円	574億円	1,156億円	-4.0%
	営業利益	152億円	50億円	60億円	110億円	-28.0%
	率	12.7%	8.6%	10.5%	9.5%	—
シート	売上高	2,455億円	1,223億円	1,313億円	2,536億円	3.3%
	営業利益	126億円	59億円	74億円	133億円	5.4%
	率	5.1%	4.8%	5.6%	5.2%	—
精密部品	売上高	1,286億円	650億円	671億円	1,321億円	2.7%
	営業利益	55億円	29億円	40億円	69億円	23.3%
	率	4.4%	4.5%	6.0%	5.2%	—
産業機器 ほか	売上高	751億円	365億円	422億円	787億円	4.8%
	営業利益	39億円	15億円	33億円	48億円	20.5%
	率	5.3%	4.1%	7.8%	6.1%	—
合計	売上高	5,697億円	2,820億円	2,980億円	5,800億円	1.8%
	営業利益	374億円	153億円	207億円	360億円	-3.9%
	率	6.6%	5.4%	6.9%	6.2%	—

15. 3期業績予想⑤

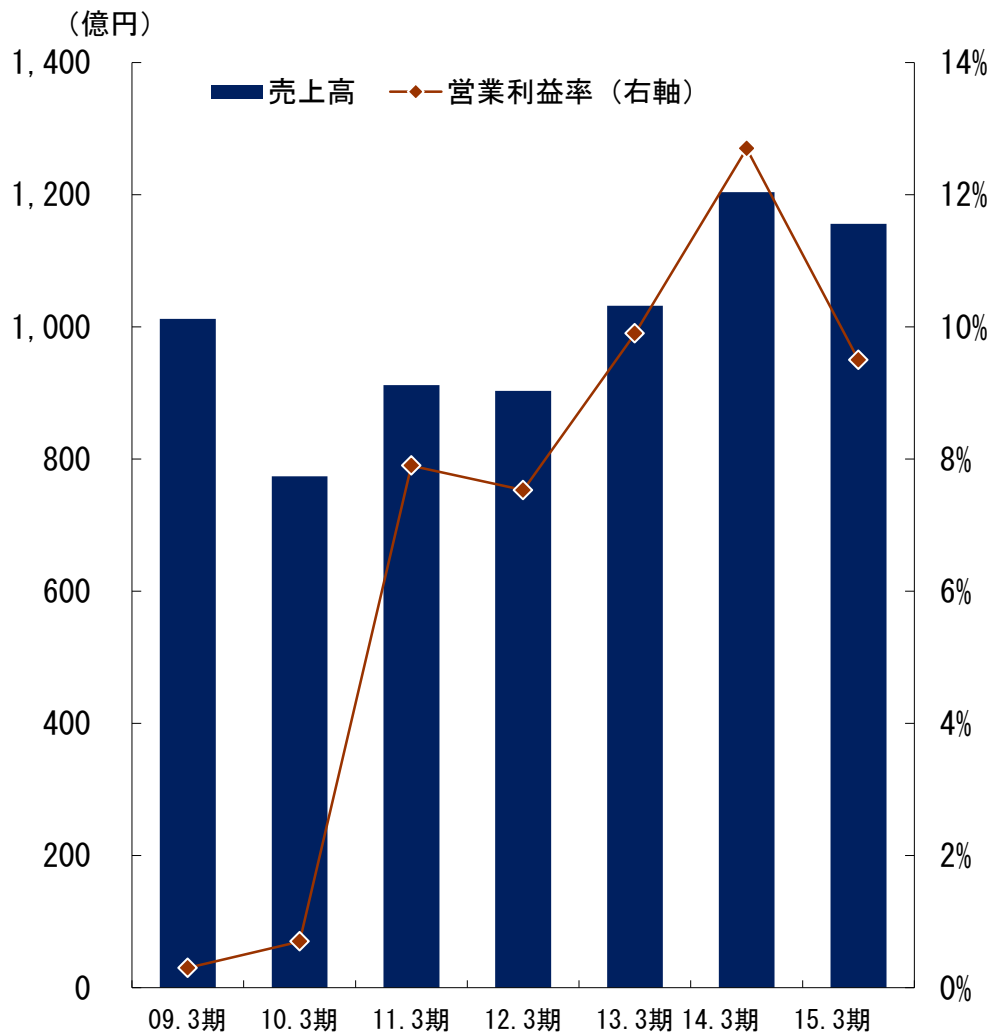
地域別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 日本とタイでは、自動車生産の減少から売上高の伸びは期待できない。
- ◆ 北米・中国では、自動車生産の増加を背景に売上の拡大を計画。

		14. 3期	15. 3期計画			前期比
		実績	上期予想	下期予想	通期予想	
日本	売上高	3,413億円	1,686億円	1,734億円	3,420億円	0.2%
	営業利益	223億円	87億円	110億円	197億円	-12.0%
	率	6.6%	5.2%	6.3%	5.8%	—
北米	売上高	735億円	417億円	463億円	880億円	19.6%
	営業利益	22億円	14億円	32億円	46億円	104.1%
	率	3.1%	3.4%	6.9%	5.2%	—
アジア	売上高	1,547億円	717億円	783億円	1,500億円	-3.1%
	営業利益	128億円	52億円	65億円	117億円	-8.8%
	率	8.3%	7.3%	8.3%	7.8%	—
合計	売上高	5,697億円	2,820億円	2,980億円	5,800億円	1.8%
	営業利益	374億円	153億円	207億円	360億円	-3.9%
	率	6.6%	5.4%	6.9%	6.2%	—

15. 3期業績予想⑥：セグメント① 懸架ばね 国内・海外での拡大対応

売上高・営業利益率の見通し



15. 3期での取組み

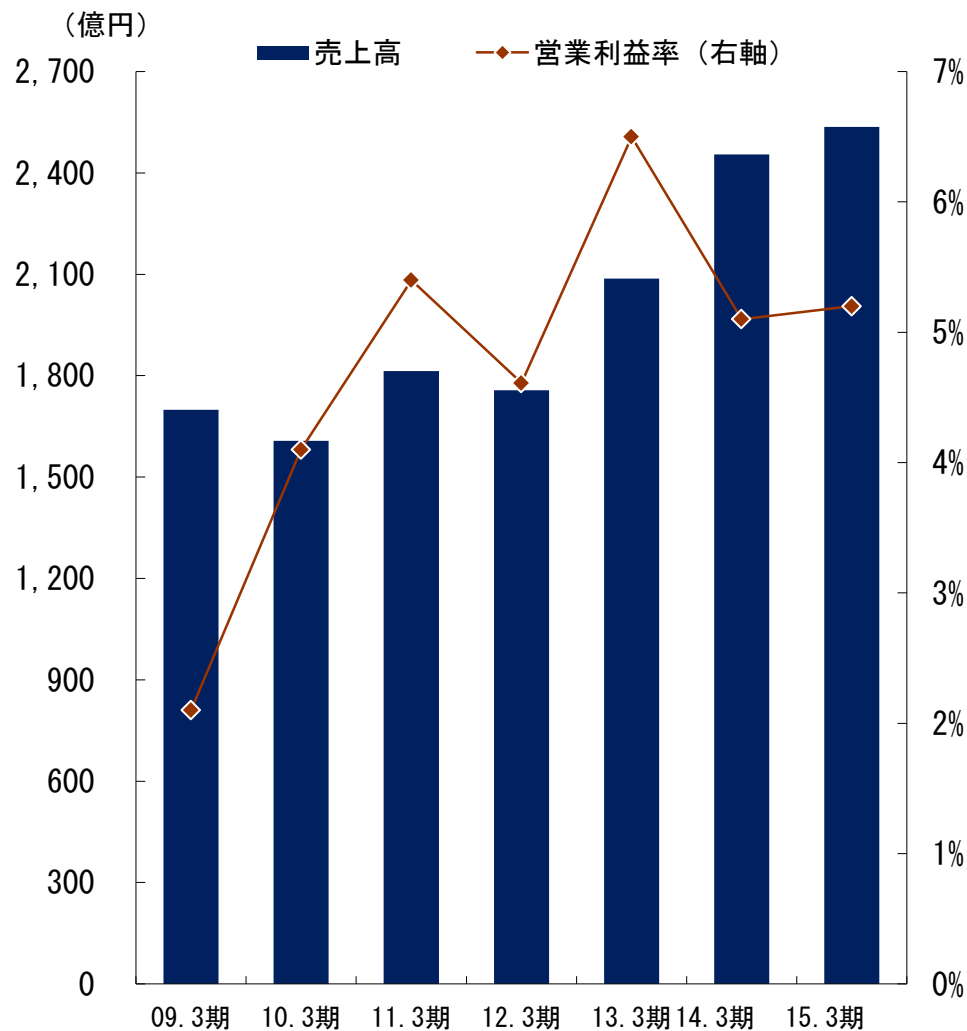
- ◆ 国内：拠点の新設、既存拠点の能力増強、開発・試作体制の整備
- ◆ 中国：生産ラインの整備・拡充による受注増への対応
- ◆ 北米：更なる生産性の向上と生産能力の増強およびメキシコ事業のスムーズな立上げ準備
- ◆ タイ：生産ラインの整備と能力増強

今後の課題

- ◆ 次世代軽量化ばねの開発と拡販
- ◆ 巻きばね・スタビライザ新生産ライン生産技術の確立
- ◆ グローバル材料調達の推進

15. 3期業績予想⑦：セグメント② シート 収益確保と新規受注の獲得

売上高・営業利益率の見通し



15. 3期での取組み

- ◆ 既存ビジネスでの収益確保継続
- ◆ 新規受注に向けた拡販活動の強化
- ◆ 中国事業の収益貢献の早期化

今後の課題

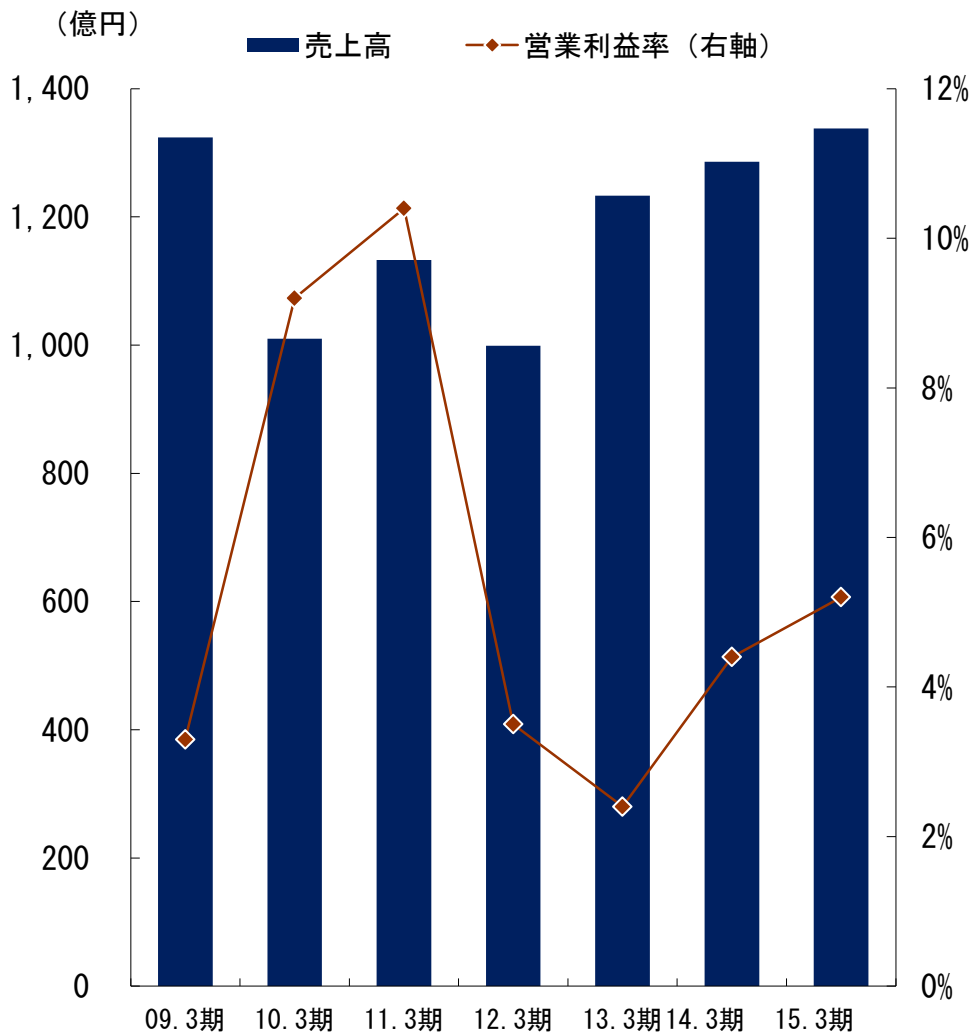
- ◆ 国内工場の更なる生産性向上
- ◆ 海外新設会社の収益貢献の早期化
- ◆ グローバル開発・調達・供給体制の構築

15.3期業績予想⑧：セグメント③

精密部品

既存事業の体質強化と新規受注の獲得

売上高・営業利益率の見通し



15.3期での取組み

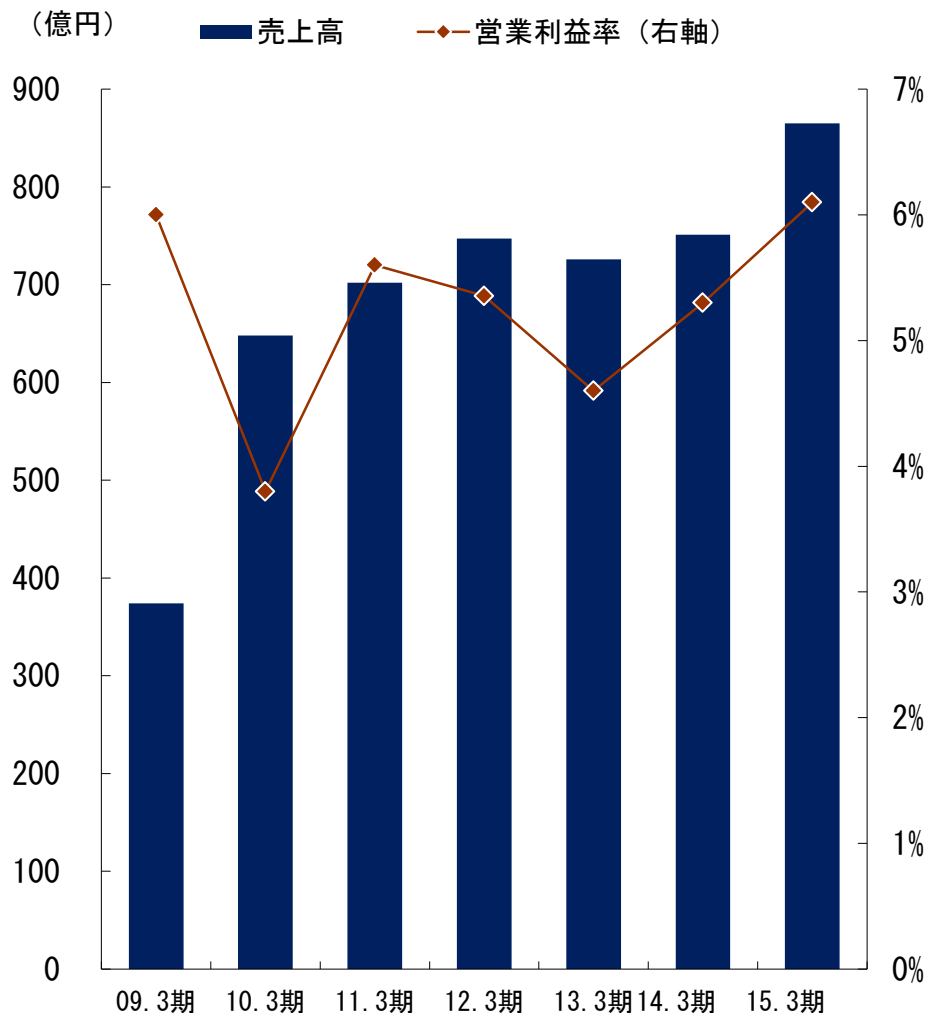
- ◆ 国内・海外拠点でのライン再構築
- ◆ コア技術の深耕と活用による既存生産ラインの効率化
- ◆ 新規受注の獲得

今後の課題

- ◆ HDD用サスペンションの更なる拡販
- ◆ 北米・タイでの業容拡大にともなう事業展開の加速
- ◆ 次世代技術・製品開発のスピードアップ
- ◆ 新規海外進出拠点の検討

15. 3期業績予想⑨：セグメント④ 産業機器ほか 各事業の売上拡大

売上高・営業利益率の見通し



15. 3期での取組み

- ◆ 海外市場での拡販の推進
- ◆ 各製品開発体制の強化

今後の課題

- ◆ 各事業の売上拡大
- ◆ 新規拡販の推進
- ◆ 各製品開発のスピードアップ

15. 3期業績予想⑩

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

		12.3期	13.3期	14.3期	15.3期
		通期	通期	通期	通期予想
設備投資	国内	9,563	13,535	12,531	13,745
	海外	10,806	11,970	8,181	11,752
	合計	20,370	25,506	20,713	25,497
減価償却費	国内	13,647	13,666	11,981	12,908
	海外	7,723	7,726	9,060	8,910
	合計	21,371	21,393	21,042	21,818
研究開発費	合計	10,055	11,750	13,803	16,534

15. 3期業績予想⑪

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

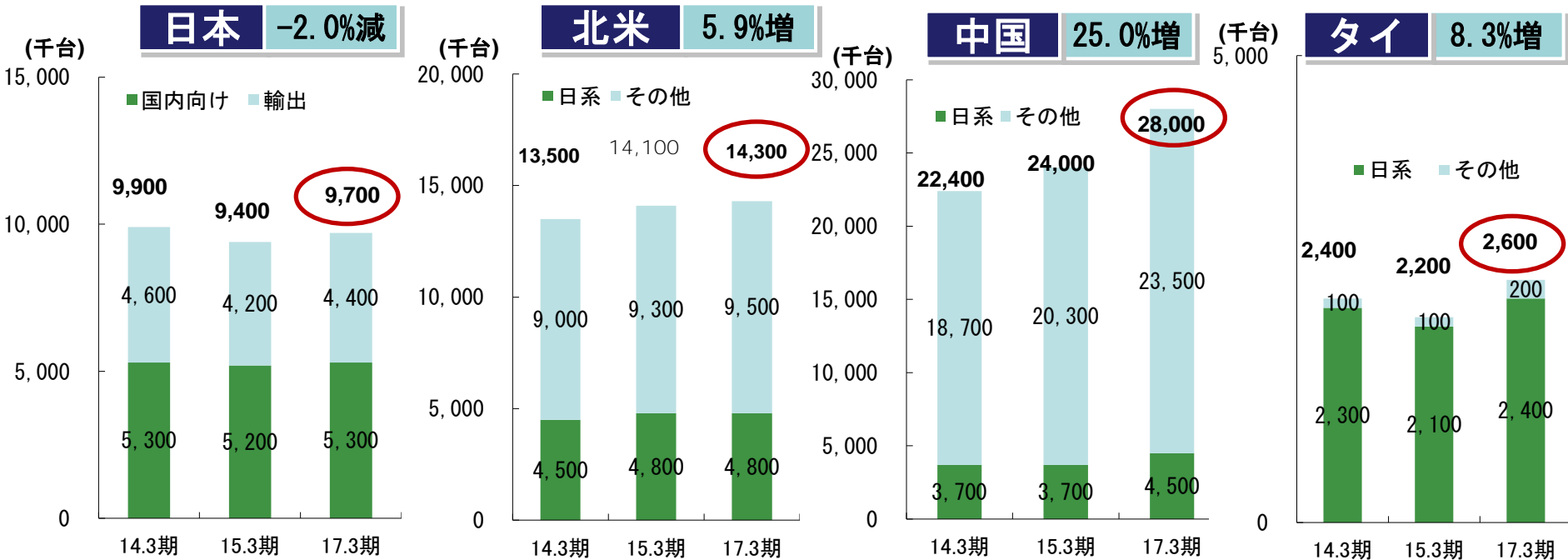
		12. 3期	13. 3期	14. 3期	15. 3期
設備投資	懸架ばね	4,159	4,778	5,067	9,210
	前期比	66.5%	14.9%	6.0%	81.8%
	シート	5,330	7,245	4,132	5,556
	前期比	△7.2%	35.9%	△43.0%	34.5%
	精密部品	9,487	11,016	9,741	8,470
	前期比	△11.9%	16.1%	△11.6%	△13.0%
	産業機器ほか	1,392	2,466	1,772	2,259
前期比	△9.1%	77.1%	△28.1%	27.4%	
合計	20,370	25,506	20,713	25,497	
前期比	△0.8%	25.2%	△18.8%	23.1%	
減価償却費	懸架ばね	4,128	4,158	4,603	5,257
	前期比	△11.7%	0.7%	10.7%	14.2%
	シート	4,665	4,784	4,902	4,757
	前期比	△6.2%	2.6%	2.5%	△3.0%
	精密部品	10,631	10,475	9,453	9,534
	前期比	△5.7%	△1.5%	△9.8%	0.9%
	産業機器ほか	1,946	1,975	2,082	2,269
前期比	17.4%	1.5%	5.4%	9.0%	
合計	21,371	21,393	21,042	21,818	
前期比	△5.4%	0.1%	△1.6%	3.7%	
研究開発費	10,055	11,750	13,803	16,534	
売上高比率	2.3%	2.3%	2.4%	2.9%	

次期中期経営計画 (16中計)について

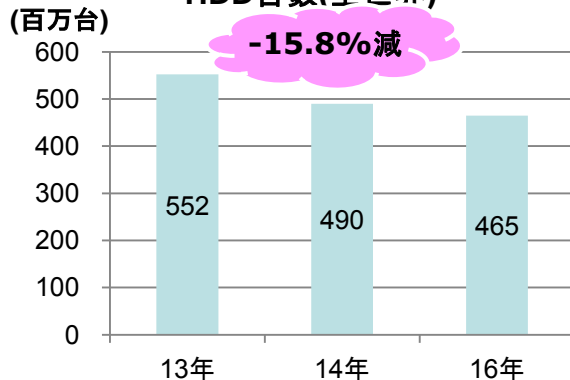
経営企画部長 杉山 徹

(1) 16中計の前提条件

16中計の前提条件(自動車生産台数・HDD台数)



HDD台数(全世界)



- ◆ 日系メーカーのグローバル生産はグローバル生産全体の伸びにほぼ沿った形で順調に伸びると見込む。
- ◆ スマートフォン、タブレット普及によるPC離れ拡大が進む。データセンター、クラウド普及による高容量ストレージ(ニアライン)の市場確立と成長を見込むが、HDD全体としては減少傾向。
- ◆ 為替レートは15.3期から17.3期まで同一レートとしている。
(US\$: 100円、THB : 3.2円)

(2) 16中計概要

- ◆ 既存拠点の収益改善と海外展開の継続、現製品の拡販による売上増により、新製品・新拠点に対する積極的な設備投資を継続しつつも、最高益の更新を目指す。

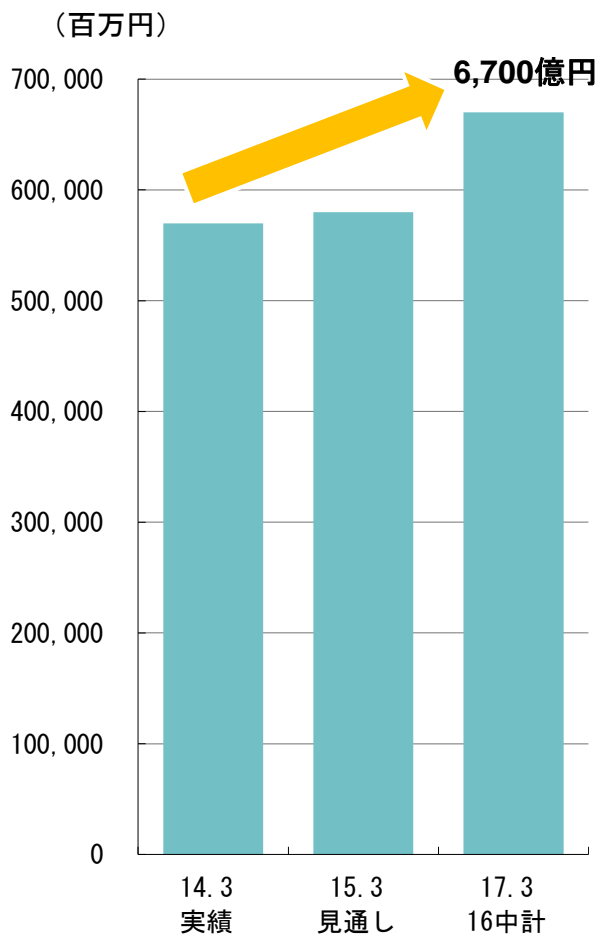
(単位 百万円)

	14.3期 実績	15.3期 計画	17.3期 計画	17.3期 -14.3期
売上高	569,711	580,000	670,000	100,288 (17.6%増)
営業利益	37,480 (6.6%)	36,000 (6.2%)	51,000 (7.6%)	13,519 (36.1%増)
経常利益	41,436 (7.3%)	38,000 (6.6%)	54,000 (8.1%)	12,563 (30.3%増)

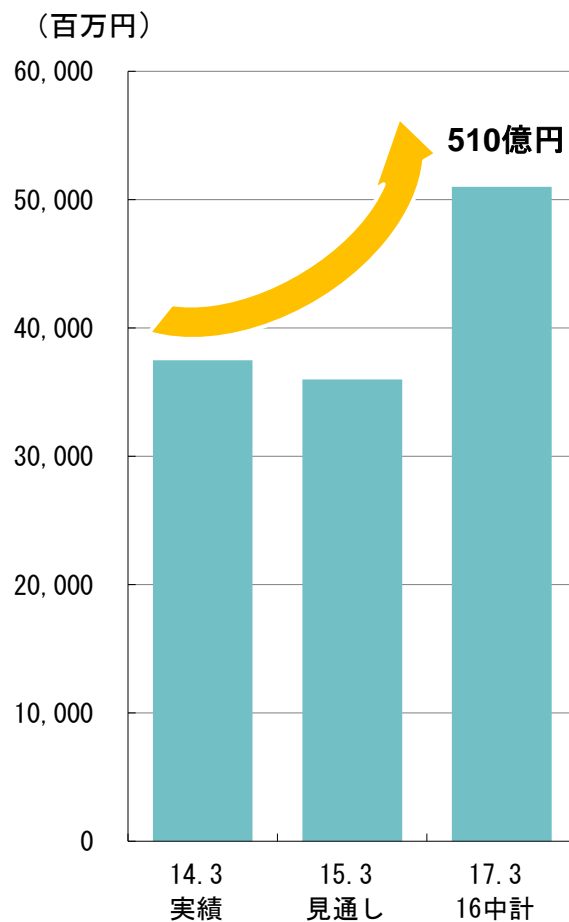
(2) 16中計概要

16中計 業績推移

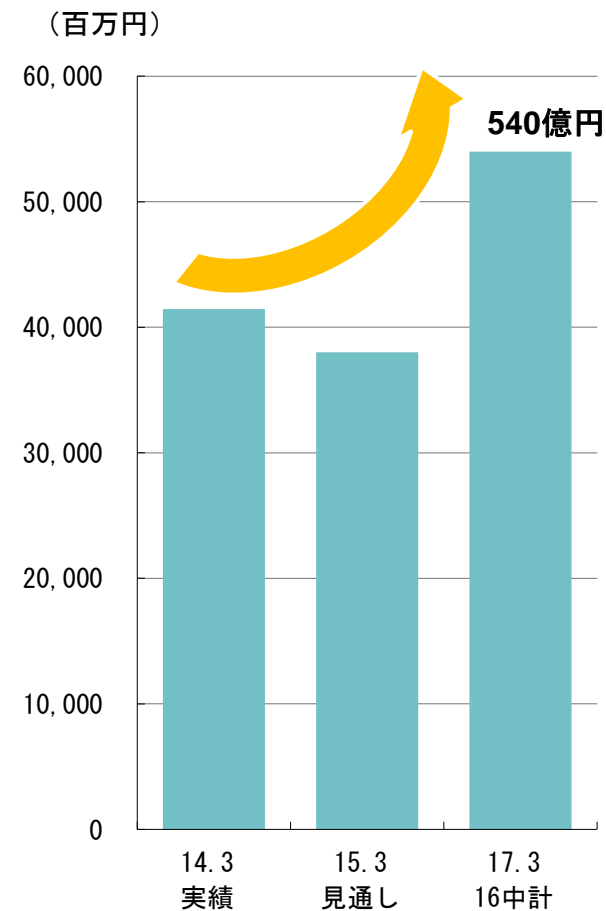
売上高



営業利益



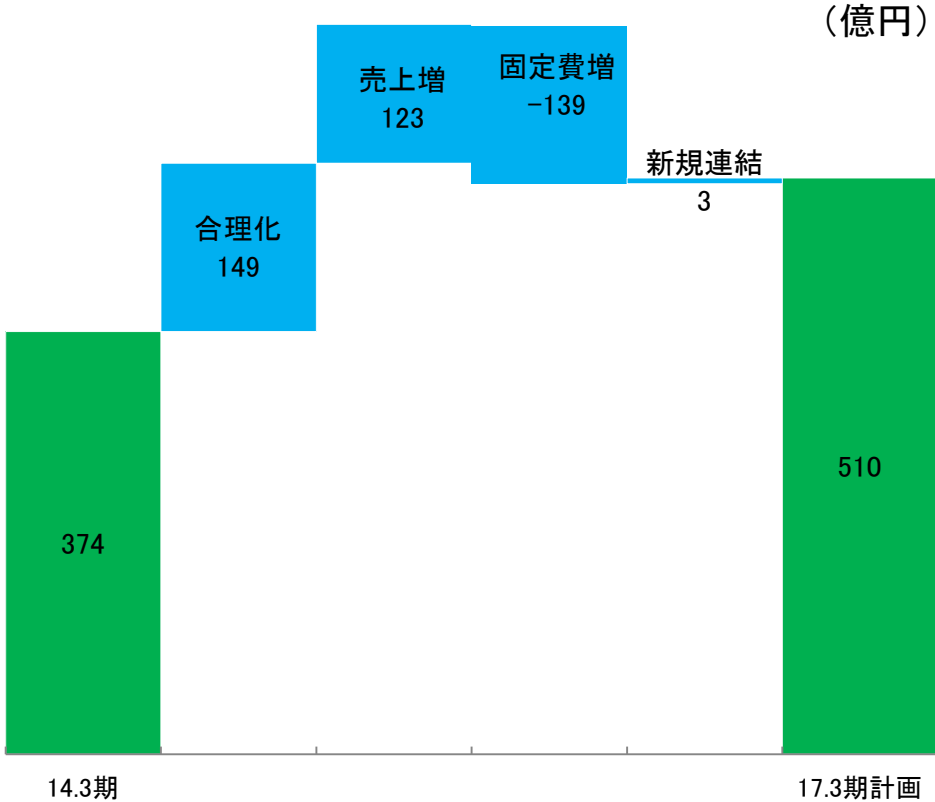
経常利益



(2) 16中計概要

営業利益の変動要因分析

- ◆ 継続的な合理化の実施、国内・海外での売上拡大により、営業利益は14.3期に対して135億円の増加を計画する。



	17.3期 -14.3期	増減要因	今後の対応
合理化	+149億円	変動費、固定費の合理化	更なる固定費削減、合理化の推進 (歩留り向上、タクトアップ等の活動を継続)
売上増	+123億円	売上増に伴う利益増	確実な受注の獲得、拡販
固定費増	-139億円	研究開発費、人件費、償却費の増加	投資回収の継続
新規連結	+3億円	新規連結による増	新規会社の収益貢献早期化

(2) 16中計概要

セグメント別 売上高・営業利益の状況

- ◆ 懸架ばねは、新規投資による償却費や研究開発費の増等により 対14.3期比増収ながら減益、シートは海外拠点の数量増に加え、国内拠点の拡販により増収増益を見込む。精密部品は、HDDは大きな伸びを見込めないものの自動車関連では海外拠点の売上増や国内拠点の拡販・合理化により増収増益の見通し。産業機器ほかでも各事業の堅調な伸びにより増収増益を見込んでいる。

		14.3期 実績	15.3期 計画	17.3期 計画	17.3期-14.3期	
					増減額	増減率
懸架ばね	売上高	1,204億円	1,156億円	1,290億円	85億円	7.1%
	営業利益	152億円	110億円	120億円	△32億円	△21.5%
	率	12.7%	9.5%	9.3%	—	—
シート	売上高	2,455億円	2,536億円	3,060億円	604億円	24.6%
	営業利益	126億円	133億円	200億円	73億円	58.5%
	率	5.1%	5.2%	6.5%	—	—
精密部品	売上高	1,286億円	1,321億円	1,410億円	123億円	9.6%
	営業利益	55億円	69億円	110億円	54億円	96.5%
	率	4.4%	5.2%	7.8%	—	—
産業機器 ほか	売上高	751億円	787億円	940億円	188億円	25.1%
	営業利益	39億円	48億円	80億円	40億円	100.9%
	率	5.3%	6.1%	8.5%	—	—
合計	売上高	5,697億円	5,800億円	6,700億円	1,002億円	17.6%
	営業利益	374億円	360億円	510億円	135億円	36.1%
	率	6.6%	6.2%	7.6%	—	—

(2) 16中計概要

地域別 売上高・営業利益の状況

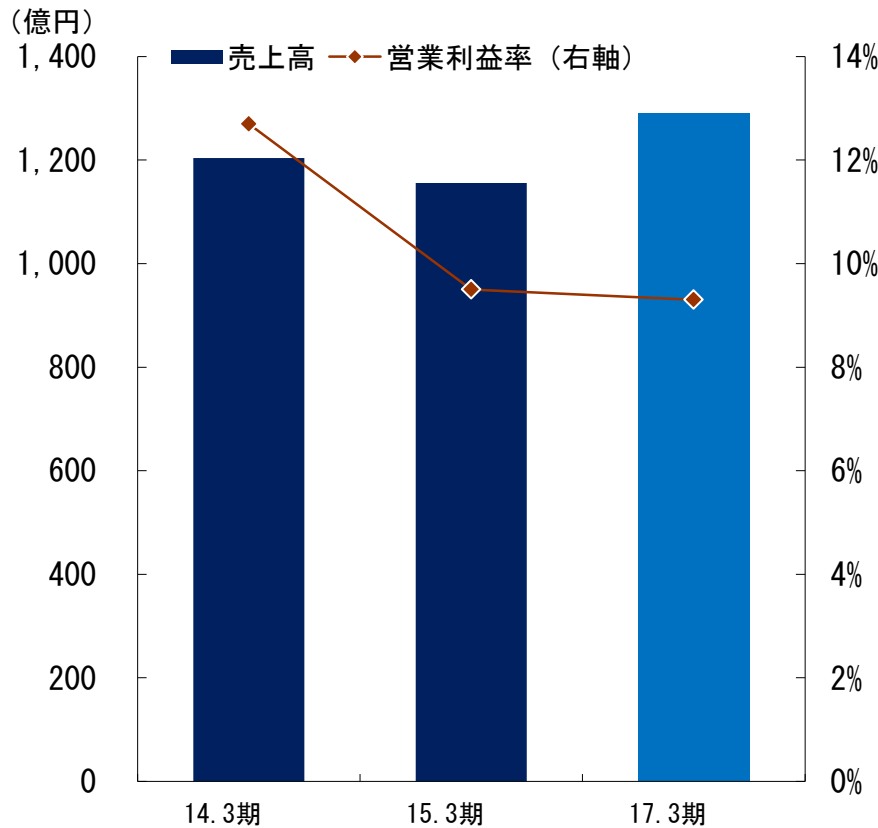
- ◆ 17.3期の営業利益は14.3期比で日本が 56億円、北米が 37億円、アジアが 41億円の増益となっており、バランスの良い中期計画となった。国内はシートの拡販による売上増と産機その他セグメントの増加により増収増益。北米はシートの数量増と精密の新規品売上増により増収増益を見込む。アジアはシートの中国拠点での売上増による増収増益を織り込んでいる。

		14.3期	15.3期	17.3期	17.3期-14.3期	
		実績	計画	計画	増減額	増減率
日本	売上高	3,413億円	3,420億円	3,840億円	426億円	12.5%
	営業利益	223億円	197億円	280億円	56億円	25.0%
	率	6.6%	5.8%	7.3%	—	—
北米	売上高	735億円	880億円	930億円	194億円	26.4%
	営業利益	22億円	46億円	60億円	37億円	166.2%
	率	3.1%	5.2%	6.5%	—	—
アジア	売上高	1,547億円	1,500億円	1,930億円	382億円	24.7%
	営業利益	128億円	117億円	170億円	41億円	32.5%
	率	8.3%	7.8%	8.8%	—	—
合計	売上高	5,697億円	5,800億円	6,700億円	1,002億円	17.6%
	営業利益	374億円	360億円	510億円	135億円	36.1%
	率	6.6%	6.2%	7.6%	—	—

(3) 各事業の課題と取り組み(懸架ばね)

新たな生産技術の確立とグローバル生産体制の強化

売上高・営業利益率の見通し



	14. 3期	15. 3期	17. 3期
営業利益額	152	110	120

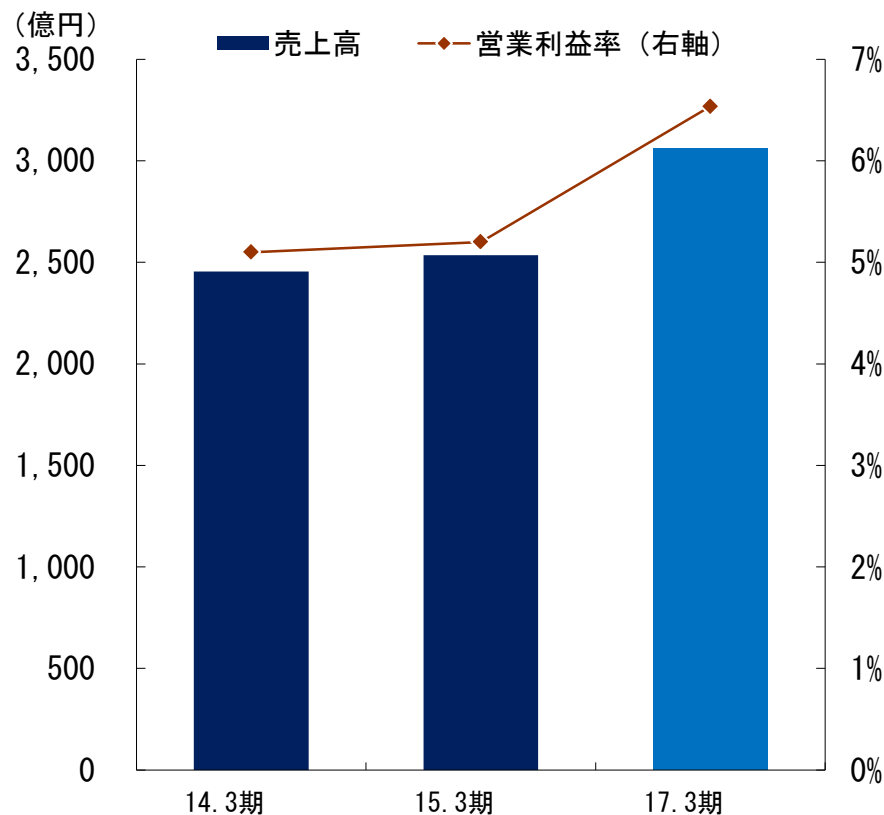
16中計での課題と取り組み

- ◆ 国内 : 国内での拡販に対応できる4拠点体制の確立(九州新会社の円滑な立上げ)
- ◆ アジア : 受注増に対応した生産能力の増強(中国・インドでの生産能力増強)
- ◆ 北米 : 着実な拡大が見込まれる北米市場への対応(メキシコ事業のスムーズな立上げ)
- ◆ 新ライン・新生産技術の確立とグローバル展開
- ◆ 新技術(軽量化)の早期量産化
- ◆ グローバル材料調達の推進

(3) 各事業の課題と取り組み(シート)

グローバルでの事業拡大(新規受注の獲得)

売上高・営業利益率の見通し



	14.3期	15.3期	17.3期
営業利益額	126	133	200

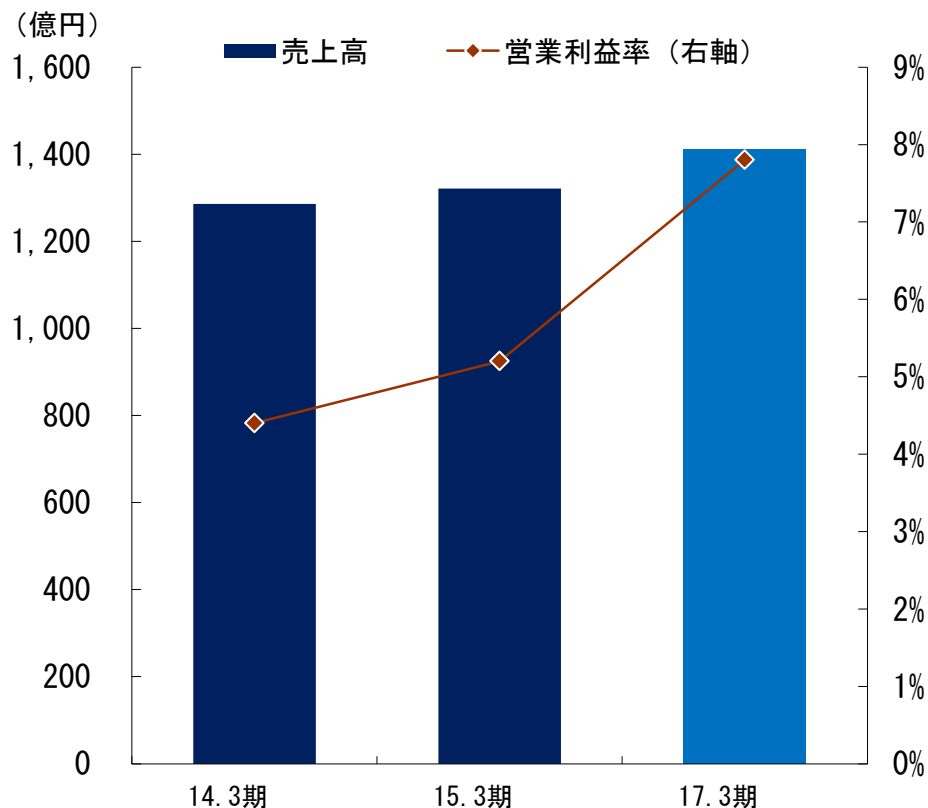
16中計での課題と取り組み

- ◆ 国内工場の収益力向上と、海外新規工場の収益貢献の早期化
- ◆ グローバル開発・調達・供給体制の構築
- ◆ 完成シートの新規受注獲得による売上増
- ◆ 軽量化・自動化技術を柱とした国内外拠点での新規拡販

(3) 各事業の課題と取り組み(精密部品)

新製品の受注拡大を目指す

売上高・営業利益率の見通し



	14.3期	15.3期	17.3期
営業利益額	55	69	110

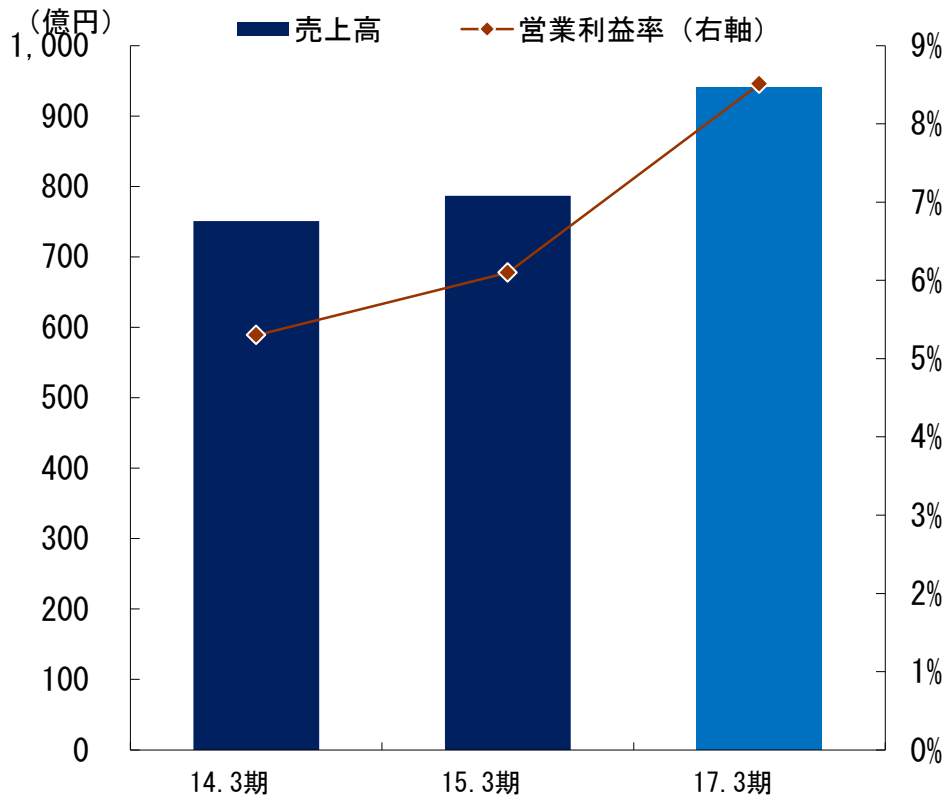
16中計での課題と取り組み

- ◆ 更なる海外展開と事業の安定化
- ◆ 北米事業の収益改善
- ◆ HDD業界再編動向の注視及び拡販
- ◆ HDD数量減の下での国内・海外拠点におけるライン再構築による収益向上
- ◆ 次世代製品の量産技術の確立
- ◆ 製品・生産技術の先行開発とスピードアップ

(3) 各事業の課題と取り組み(産業機器ほか)

新規品の上市と成長市場での売上拡大

売上高・営業利益率の見通し



	14. 3期	15. 3期	17. 3期
営業利益額	39	48	80

16中計での課題と取り組み

- ◆ 基板事業の拡大(高付加価値製品の開発と上市)
- ◆ 中国マーケットの取込み(特品・化成品)
- ◆ ソフト事業の拡大(配管)
- ◆ 各開発テーマのスピードアップと新製品の拡販
- ◆ セキュリティ分野における応用製品の開発

(4) その他

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:億円)

		14.3期	15.3期	16.3期	17.3期
設備投資	国内	125	137	169	132
	海外	81	117	104	100
	合計	207	254	273	232
減価償却費	国内	119	129	146	147
	海外	90	89	96	98
	合計	210	218	242	245
研究開発費	合計	138	165	208	194

15.3期から17.3期の3カ年合計で約760億円の設備投資を計画し、約706億円の減価償却費の発生を見込んでいる。

(4) その他

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:億円)

		14.3期	15.3期	16.3期	17.3期
設備投資	懸架ばね	50	92	85	83
	シート	41	55	63	53
	精密部品	97	84	90	74
	産業機器ほか	17	22	35	22
	合計	207	254	273	232
減価償却費	懸架ばね	46	52	67	69
	シート	49	47	53	53
	精密部品	94	95	98	96
	産業機器ほか	20	22	24	27
	合計	210	218	242	245
研究開発費	合計	138	165	208	194

15.3期から17.3期の3カ年合計で約760億円の設備投資を計画し、約706億円の減価償却費の発生を見込んでいる。

ご清聴ありがとうございました。
引き続き、16中計の達成へ向けて
全力を傾注してまいります。

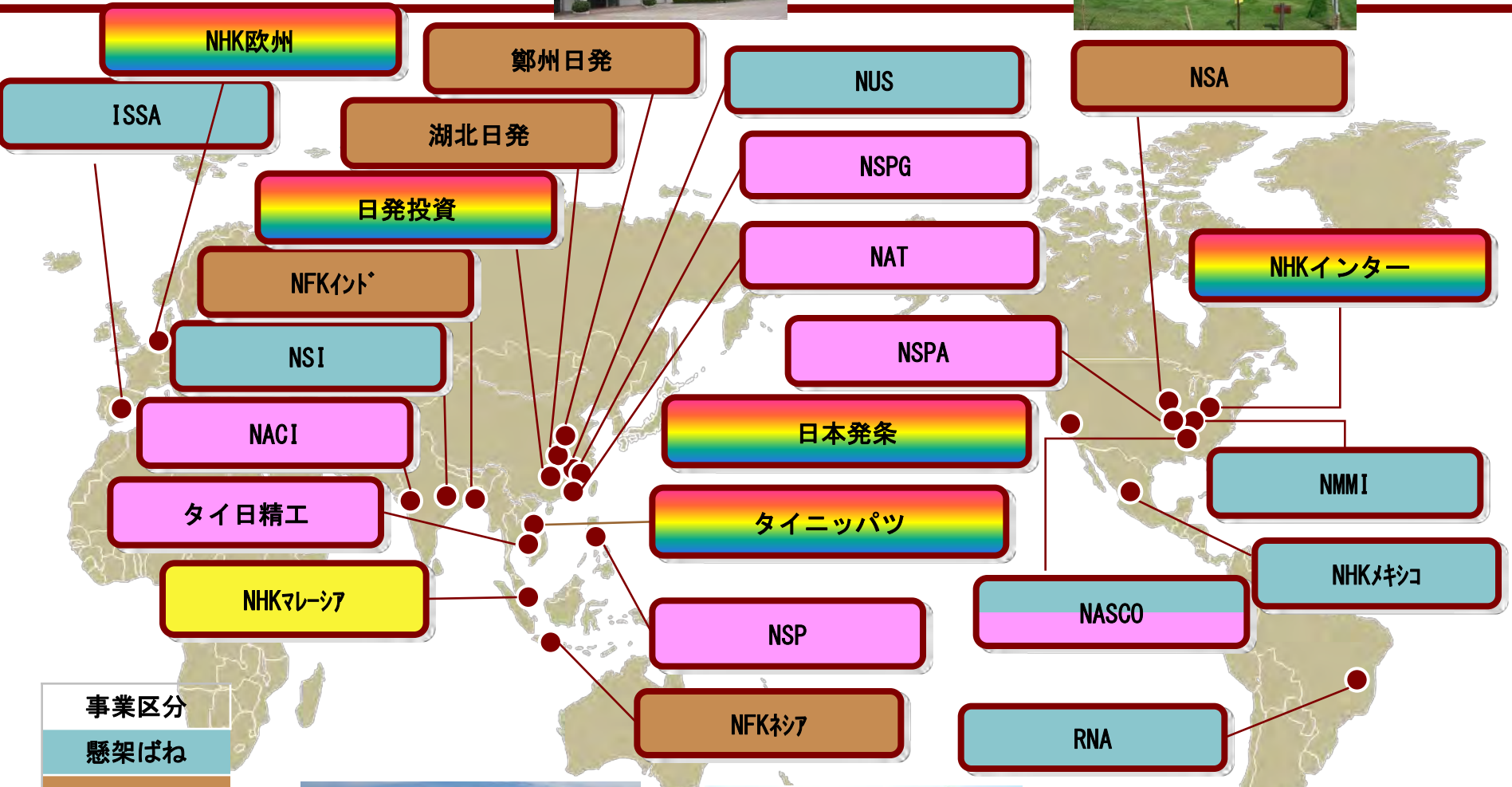
補足資料



補足資料：海外展開の状況 主要海外拠点



ニッパツ
株式会社



- 事業区分
- 懸架ばね
 - シート
 - 精密部品
 - 産業機器ほか
 - 全製品



オランダにおける新会社設立のお知らせ

欧州における事業展開の母体としてオランダに持株会社を設立し、顧客サービス向上のため同オランダ法人のドイツ支店（所在地はWolfsburg: ウォルフスブルグ）を開設する。

<会社の概要>

- | | |
|-------|--|
| ①会社名 | NHK Spring Europe B.V. (仮称)
日本発条（欧州）株式会社 (仮称) |
| ②所在地 | オランダ アムステルダム |
| ③資本金 | 350,000ユーロ |
| ④出資比率 | ニッパツ100% |
| ⑤事業内容 | 欧州における事業管理ならびに営業・技術サービスの提供 |
| ⑥設立時期 | 2014年3月 |
| ⑦従業員数 | 5名程度（当初） |

九州での自動車用懸架ばね新会社設立に関するお知らせ

国内における、懸架ばね事業の生産体制の強化を目的として、九州に新規の生産拠点を設立した。当初は、コイルばねとスタビライザの生産を予定。

<会社の概要>

- | | |
|-------|----------------|
| ①会社名 | ニッパツ九州株式会社（仮称） |
| ②所在地 | 福岡県京都郡苅田町 |
| ③投資額 | 約20億円 |
| ④出資比率 | ニッパツ100% |
| ⑤事業内容 | 自動車用懸架ばねの製造・販売 |
| ⑥工場規模 | 敷地面積：約40,000㎡ |
| ⑦売上高 | 15億円（2018年度予定） |
| ⑧生産開始 | 2016年4月（予定） |
| ⑨従業員数 | 30名程度 |

Q: 主要カーメーカーへの売上比率は？

A: 14年3月期の実績は下表のとおり。

主要カーメーカー	13.3期	14.3期	コメント
トヨタグループ	18%	16%	
日産グループ	13%	16%	
富士重グループ	13%	13%	
スズキグループ	5%	4%	
いすゞグループ	6%	6%	
ホンダグループ	4%	5%	
マツダグループ	2%	2%	
フォードグループ	1%	1%	
上位3社	44%	45%	
その他	56%	55%	

※比率は総売上高に対する割合

補足資料

よくある質問と回答②

Q:HDD用サスペンションの拠点別数量は？（暦年ベースと決算ベース）

A:2013年、2014年の実績は下表のとおり。

（単位：百万個）

暦年ベース	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2013年実績	183	180	363	181	188	369	732
<日本>	77	70	147	76	76	152	299
<中国>	41	46	87	50	50	100	187
<タイ>	65	63	128	55	62	117	245
2014年実績	182						
<日本>	74						
<中国>	42						
<タイ>	67						

決算ベース	Q1	Q2	上期	Q3	Q4	下期	通期
2013年実績	176	186	362	181	186	367	729
<日本>	70	76	146	76	74	150	296
<中国>	41	46	87	50	50	100	187
<タイ>	65	63	128	55	62	117	245
2014年実績							
<日本>							
<中国>	42						
<タイ>	67						

補足資料：よくある質問と回答③

HDD関連の状況

HDD台数(百万台)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2013年実績	136	133	269	140	143	283	552
2014年実績	138						

サスペンション総需要(百万個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2013年実績	496	477	973	480	510	990	1,962
2014年実績	464						

サスペンションカウント(個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2013年実績	3.65	3.58	3.62	3.42	3.58	3.50	3.56
2014年実績	3.36						

NHK数量(百万個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2013年実績	183	180	363	181	188	369	732

NHKシェア(%)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2013年実績	36.9	37.6	37.3	37.7	36.8	37.3	37.3

[注]HDD台数、サスペンション総需要、サスペンションカウント、シェアは当社推定値。